

第 27 回日本東洋医学会 関東甲信越支部

山梨県部会 学術総会

【日時】 令和 6 年 9 月 7 日(土) 15 時から 19 時まで

【場所】 web 開催のみ

【会費】 3000 円（学生は無料）manaable にて支払い

山梨県部会 会長 菅原健

第 27 回日本東洋医学会関東甲信越支部山梨県部会

事務局：甲府共立病院 鶴田統子

055-226-3131

＼漢方情報をネットから！／

株式会社ツムラの医療関係者向けサイト

TSUMURA MEDICAL SITE

<https://medical.tsumura.co.jp>

視聴する



セミナーや講演会、
動画コンテンツなど
さまざまな漢方情報が
ご覧いただけます。

調べる



24時間365日対応可、
よくある質問に
AIチャットボットが
お答えします。



ご登録はこちらから

<https://medical.tsumura.co.jp/reg>

Web講演会の参加申し込みや視聴予約、
オンデマンド動画のご視聴には会員登録が必要です。
医療関係者の皆様のご登録をお願いします。



第 27 回 日本東洋医学会関東甲信越支部 山梨県部会学術総会

15:00 開会 会長挨拶 菅原健

15:05 総会

15:10-16:10 スポンサーセミナー 特別講演

「オキシトシンと加味帰脾湯の可能性について」

演者：下村健寿（けんじゅ）先生

福島県立医科大 病態制御薬理学講座 主任教授

座長：菅原健先生 健友堂クリニック院長/健康科学大学特任教授/

山梨大学医学部麻酔科学教室非常勤講師

16:15-17:25 教育講演

「小柴胡湯を再考する」

演者：山崎玄蔵先生 かしのき内科 院長

座長：中田薫先生 中田医院 中国医学研究所 院長

17:25-19:15 一般演題 8 演題 発表 7 分 質疑 2 分

座長 浅野伸将/ 鶴田統子

1. 耳鳴と繰り返す発熱に八味丸が効果的だった症例

賀村仁美 北杜市立辺見診療所

2. 一物瓜蒂散の使用経験

杉野二三 アトム薬局

3. 長期間にわたり精査加療を繰り返した腹痛に漢方治療が有効であった一症例

縄田昌子 山梨県立中央病院

4. 全身倦怠感を主とした愁訴を少陰病と判断し苓姜朮甘湯加附子を用いた一例

鶴田統子 甲府共立病院

5. 下肢静止不能症候群と太陰脾経（経絡、太白）と帰脾湯

中田薫 中田医院

6. 帯状疱疹を漢方薬でいかに治療するか

菅原健 健友堂クリニック

7. インフルエンザ罹患後の西洋薬に無反応な難治性咳嗽（昼多咳夜無）に対して肝気虚の漢方治療で著効した一症例

渡邊善一郎 富士ニコニコクリニック

8. コロナ後遺症の倦怠感、ブレインフォグに黄耆建中湯が有効であった一症例 原典子 身延山病院

スポンサーセミナー 下村健寿先生「オキシトシンと加味帰脾湯の可能性について」

【抄録】

加味帰脾湯は不眠症、精神不安、神経症改善等の効果があると古くから知られ、処方されてきた。一方、泌乳、子宮収縮ホルモンとして知られるオキシトシンの新しい機能が2000年代になって報告されており、その中には信頼を高めることや、自閉症症状の改善、ストレスの緩和作用などが明らかとなってきた。加味帰脾湯とオキシトシンの効果は共通する点が認められることから、加味帰脾湯の薬理機序にオキシトシンが関与していることが考えられる。今回、脳視床下部のオキシトシンニューロンに対して加味帰脾湯の効果をc-Fos発現、電気生理学的手法、細胞内カルシウム測定さらには脳スライスからのオキシトシン分泌測定によって検討を行った。加味帰脾湯の経口ならびに腹腔内投与は脳室傍核のオキシトシンニューロンにc-Fosの発現を促すことが確認された。また脳スライスパッチクランプによる検討から加味帰脾湯は室傍核オキシトシンニューロンの活性化を促し、また細胞内カルシウム濃度の上昇も認められた。これらの細胞レベルの効果に加えて、オキシトシンニューロンの存在する室傍核を含む脳スライスに加味帰脾湯を添加したところ、1時間のbatch incubation後にオキシトシンの分泌が実際に確認された。以上の結果から加味帰脾湯は脳のオキシトシンニューロンに作用してその薬理効果を発揮している可能性が示唆された。

下村 健寿先生【御略歴】

【御略歴】

1997年3月	福島県立医科大学医学部卒業
1997年5月-1998年5月	群馬大学医学部附属病院に研修医として勤務
1998年6月-1999年5月	伊勢崎市民病院に研修医として勤務
1999年6月-2004年3月	群馬大学医学部大学院に在籍
2004年5月-2012年4月	英国・オックスフォード大学生理学講座に専任研究員として勤務
2012年5月-2014年7月	自治医科大学生理学講座統合生理部門 講師（本務大学院講師）
2014年8月-2017年3月	福島県立医科大学腫瘍生体エレクトロニクス講座・特任教授
2015年12月	福島県立医科大学 医療エレクトロニクス研究講座・主任教授（兼任）
2017年 4月	福島県立医科大学 病態制御薬理医学講座 主任教授
2023年 4月	福島県立医科大学 副理事

【資格】

1997	医師免許
2003	日本内科学会内科認定医
2004	学位(医学博士)
2020	AMWA(先端医科学ウェルネスアカデミー)理事
2021	AMWA(先端医科学ウェルネスアカデミー)代表理事
2024	Advanced Biomedical Society 理事

【著書】

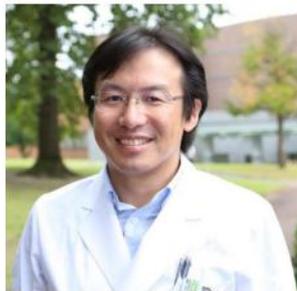
「最強の医師団が教える長生きできる方法」(アスコム)共著
「オックスフォード式最高のやせ方」(アスコム)
「頭のいい人が問題解決をする前に考えていること」(アスコム)

【研究分野】

膵臓β細胞における電気生理学
新生児糖尿病の病態生理
脳電気生理学(脳スライスパッチクランプ法)

【受賞歴】

2005年 オックスフォード大学メリット賞
2010年 オックスフォード大学メリット賞



教育講演. 山崎玄蔵先生「小柴胡湯を再考する」

【御所属】 かしのき内科

【抄録】小柴胡湯は傷寒論を原典とする少陽病期に使用する代表的な漢方薬である。古典におけう小柴胡湯に関する記載を紐解くと急性期から亜急性期に感染症に対して使用していたことがわかる。現代では感染症の治療は抗菌薬の抗ウイルス薬による治療が行われるため漢方薬による治療が行われることは少ない。しかしながら、現代の西洋医学と小柴胡湯を組み合わせた感染症に対する治療に関する報告もみられる。一方で小柴胡湯による間質性肺炎の報告がみられたことが、臨床現場における小柴胡湯の使用頻度に少なからず影響を与えている。今回の特別講演では小柴胡湯について古典での使用方法、現代での臨床報告などについて紹介し、ともに考えましょう。

演題 1. 耳鳴と繰り返す発熱に八味丸が効果的だった症例

【演者】○賀村 仁美¹⁾、三井 梓¹⁾、渡邊 善一郎²⁾、中田 薫³⁾

1)北杜市立国民健康保険辺見診療所、2)福笑会 富士ニコニコクリニック、3)中田医院 中国医学研究所

【はじめに】耳鳴は外来でよくみられる症状であるが、治療に苦慮することも多い。また繰り返す発熱(虚熱)の原因は中医学的に陰虚内熱を考え六味丸などの投与で改善が望めるが、今回は耳鳴と繰り返す発熱に腎陽虚に用いる八味丸が効果的だった症例を経験したので報告する。

【症例】66歳男性《主訴》両耳の耳鳴、冷え、便通異常、繰り返す発熱《既往歴》52歳胃癌(亜全摘・脾臓・胆嚢摘出手術)59歳左大腿骨転子部骨折 63歳心筋梗塞 《現病歴》胃癌治療後から12か月毎に37.5-39℃の発熱が頻回に起きていた。炎症反応を伴う気管支炎の時もあれば発熱のみのこともあった。X-1年から耳鳴が出現、X年6月頃より悪化のため耳鼻科を受診し内服治療をしたが変化なく、X年11月当院外来受診となった。《現症》身長169.2cm 体重43.6kg BMI:15.23 血圧110/70mmHg SpO2 98%《東洋医学的所見》脈弦洪 紫舌 裂紋 薄白苔《弁証》腎陽虚 気血両虚《処方》八味丸《経過》20丸/朝内服4日目に耳鳴が軽快。2週間後便通が安定し40丸/朝夕、4週間後60丸/朝昼夕に増量した。6週間後つま先が温かくなり熟睡できるようになった。初診から半年が経過しても発熱は出現せず、耳鳴は消失した。

【考察】耳鳴の病因病機には肝・胆・脾・腎などの臓腑機能の失調と関係があり、特に腎との関係が深い。本症例は腎気を補うことで各臓腑の機能を支え軽快させたと考える。

【結語】大病後や術後に発症した耳鳴の場合、病因は虚弱体質による腎性不足、気血不足が考えられる。今回は腎陽気を補う事で比較的速やかな症状改善がみられた。また養生の指導(食事・仕事・休息)も大切である。

演題 2. 一物瓜蒂散の使用経験

【演者】○杉野 二三¹⁾、藤巻 徹郎¹⁾、菅原 健²⁾³⁾⁴⁾

1)アトム薬局大里店、2)健友堂クリニック、3)山梨大学附属病院麻酔科、4)健康科学大学

【はじめに】古来より漢方治療の基本として発汗吐下が知られている。発汗と瀉下の療法は一般的に使われる治療法であるが、どういうわけか現代の漢方治療において吐方による治療法は皆無である。吐方は『傷寒論』や『儒門事親』、日本においては江戸時代の奥村良筑から始まり、それを受け継いだ医家が多く論著を残している。吐剤の基礎的生薬としては瓜蒂(かてい)が有名であり、『本草啓蒙』によると瓜蒂とは甜瓜(まくわうり)の蒂と記されている。今回、甜瓜を入手し、一物瓜蒂散を作製、さらに自ら治験を行ったのでここに報告する。

【治験例】治験例1.鼻から一物瓜蒂散を吸入後、鼻粘膜および鼻甲介より粘液のような水分が出続けた。それは約二時間続いても治まらず、水分が抜けすぎて逆上し、胃からも粘液が胃内に分泌されたので、それを吐くに至った。胃内容を嘔吐した後は妙にスッキリした。逆上については麦門冬湯を服用して落ち着いた。それで元々あった鼻炎や呼吸器から分泌される痰などほとんど治ってしまった。でも鼻水とクシャミは数日続いた。治験例2.鼻から吸入後、同様に鼻水が止まらない。鼻水は止まらなかったが眠いので寝てしまった。翌朝黄色い痰のようなものが鼻から排出。2日目には今度は膿のような痰が後鼻漏として排出された。それで元々あった耳の閉塞感も治ってしまった。さらになんと長年苦しんでいた便秘が約一週間解消された。

【考察】本草啓蒙に、甜瓜(まくわうり)の蒂を吐薬に用ゆ。瓜蒂と云。また、越前の瓜蒂を上品とす。と書かれている。瓜蒂は生薬として販売されていない。『医学入門』に、一物瓜蒂散 濕家鼻塞聲重頭痛者、令病患先噉水一口勿咽、次將瓜蒂散一字入鼻内、搯出黄水為度。とあり、方輿輒ではさらに、この症ただ湿家のみならず痰飲の甚しき人にもあり。その他諸般の頭痛に泛く用ふべし。と付記されている。瓜蒂は吐剤ではあるが、今回の治験の結果、鼻炎、肺疝による痰、疝による便秘にも著効があった。

演題 3. 長期間にわたり精査加療を繰り返した腹痛に漢方治療が有効であった 1 症例

【演者】○縄田 昌子

山梨県立中央病院女性専門科

【緒言】漢方治療は、病名のつかない不調や西洋医学的に確定診断に至らない病態に対応することが多い。そのため漢方治療では、複数の医療機関を受診し器質性疾患を除外された後も不調が続いている、と訴える症例によく遭遇するが、多くの症例はある程度の検査施行後に漢方治療にたどり着いている。今回、複数の地域医療支援病院、大学病院を受診し、長期間にわたり徹底的に精査加療を繰り返した腹痛に漢方治療が有効であった症例を経験したので報告する。

【症例】26 代女性。主訴：腹痛。現病歴：X-3 年頃から月経痛が強く生活に支障が生じるようになった。月経前後 1 週間だった痛みが増悪し毎日のように痛みを感じるようになり、X-2 年 1 月に A 病院婦人科を受診した。子宮内膜症と診断されジェノゲスト®を服用し始めたが改善しないため、7 月に消化器内科へ紹介となった。経過中 38°C の発熱があり検査入院したが腹痛の原因は特定できず、12 月に当院消化器内科に紹介された。消化器内科の精査と並行して、家族性地中海熱、不全型ベーチェット病を除外するため総合診療科、リウマチ膠原病科、皮膚科、眼科も受診した。X-1 年 6 月、腸重積の疑いで A 病院にて腹腔鏡手術を施行されたが、開腹時には自然解除されていた。家族性地中海熱など遺伝性自己炎症性疾患の遺伝子検査も施行したが確定診断には至らず、X 年 11 月当科受診となった。

脈候は沈、弱。舌候は淡白紅色、胖大で舌下静脈怒張は認めない。腹候は腹力中等度で胸脇苦満、腹直筋攣急、臍傍圧痛を認めた。桂枝茯苓丸 5.0g 分 2 で処方し、少しずつ改善傾向を認めている。

【考察】症例は長期間にわたって精査加療を繰り返されたが確定診断に至らなかった。腹腔鏡手術まで施行されたが、西洋医学は診断をつけて治療するため検査を重ねていくしかなかった。漢方治療は全人的な視点で患者さんを捉え、西洋医学的診断がつかなくても治療に介入することが可能であり、西洋医学にはない病名である瘀血という病に対する治療が効を奏した。

演題 4. 全身倦怠感を主とした愁訴を少陰病と判断し苓姜朮甘湯加附子を用いた一例

【演者】○鶴田 統子¹⁾、菅原 健^{2,3,4)}

1) 甲府共立病院 産婦人科 2) 健友堂クリニック、3)健康科学大学、4)山梨大学医学部医学科麻酔科

【症例】41 歳女性、160 cm、52 kg【既往歴】三妊三産、子宮筋腫、パニック障害、過敏性腸症候群・下痢型、貧血【現病歴】子宮筋腫に伴う高度貧血のため、X-2 年に婦人科ホルモン治療を半年実施後、腹腔鏡下单純子宮全摘術(卵巣温存)を実施した。術後半年頃からほてり、イライラ、やる気のなさ、だるさが徐々に悪化し、X-1 年婦人科、精神科にて精査したがホルモン等異常所見を認めず、パニック障害として加療を受けた。徐々に症状が悪化し、最低限の家事育児も、やろうと思っても体が動かず、寝込むことが増え、生活に支障を来していた。他にも複数の愁訴があり X 年漢方外来を初診した。【所見】脈：虚、小脈 腹：胸骨圧痛あり、右季肋の圧痛あり、心下痞あり、左脇肋部の圧痛あり、腹部全体に煩熱を認める

【経過】苓姜朮甘湯エキス顆粒 7.5g+加工ブシ末 1.5g 分 3 にて 4 週間投与した。内服翌日から食事の度に 5, 6 回の水様便でることが 3 日程続いたが、IBS の下痢と異なり、痛みや不快感が少なく、排便後に爽快感があったため服用が継続できた。第二診時には倦怠感はかなり改善し、口臭やイライラ、ほてり、睡眠障害なども消失した。

【考察】既往から想定される鑑別処方が多い。経過や脈から陰病であり、腹診の左脇肋部の圧痛は裏水を示し、少陰病期であり、症状は陽虚寒飲によるものと判断して、附子、茯苓、朮、甘草、乾姜の五味の、四逆湯の方意を含む温裏剤を用いたところ、根本的な原因である膈の周囲にあった水飲が解消し多くの症状が改善したと考えられた。真武湯も鑑別となるが、去るべき水飲の場が違うことから、本方の選択が妥当であったと考えられる。

【結語】六病位を意識した方剤選択により、気血水弁証、臟腑弁証からのアプローチより単純に治療が決定し、急速に症状が改善した一例を検討した。漢方医学的病態生理とエキス剤を組み合わせた方法が有効であった。

演題 5. 下肢静止不能症候群と太陰脾経(経絡、太白)と帰脾湯

【演者】中田 薫¹⁾、中田 光宥²⁾

1) 中田医院 中国医学研究所、2) 東京医科歯科大学

【はじめに】下肢静止不能症候群(むずむず脚症候群、レストレスレッグス症候群)は、「下肢を動かさないと(寝る時に多く、横になったり、座っている時も出現)、どうしても脚を動かしたい」という耐え難い運動欲求が生じる感覚障害で、布団の中でじっとしてられない、眠くても眠りにつくことができない、何とか寝付けたとしても、睡眠が浅く、十分な睡眠がとれない状態である。国内人口の約 25 人に 1 人(2~5%)に潜在患者が存在すると言われているが、西洋医学では原因不明で有効な治療法がない。東洋医学的に足太陰脾経の治療で症状が改善したので報告する。

【症例】64歳男性。既往歴:関節リウマチ(メトトレキサート内服中)、睡眠時無呼吸症候群(C-パップ使用)治療中。平胃散、葛根湯、芍薬甘草湯等エキス剤を投与したが効果がなかった。下肢のむずむずは起きている時は良いが寝ると出現し「気がおかしくなりそう」と訴えていた。「寝るとき足の後ろに固い本を置くとむずむずが多少楽になる」ということから足太陰脾経の原穴太白の刺激(来院時セイリン 0.16×15mmを両側太白に単純穿刺10分、施術後両側太白に置玉、数日後置き玉が取れたら自分の指で太白刺激を指示)と帰脾湯煎じ薬を投与。数か月後「むずむずが半分くらいになった。出現しない日もある。何とか我慢できる」に改善した。

【考察】中医古典でむずむずは、肌膚麻木、皮膚搔痒などに相当し、下肢静止不能症候群の症状は見当たらない。脾の働き『体は肌肉に合し、四肢を主る』作用や、血の滋潤作用の低下などが関係すると考えられるが、下肢だけに症状が現れることから、足太陰脾経の関係が考えられる。帰脾湯煎じ薬(心脾両虚、脾不統血)が有効であったことから、むずむず脚症候群発生は脾の障害との関係が示唆される。

【結語】むずむず脚症候群は太白の刺激、足太陰脾経の経絡を妨げる(下肢の後面に固いものを置く方法)、帰脾湯投与などが有効である可能性がある。

演題 6. 带状疱疹を漢方薬でいかに治療するか

【演者】○菅原 健

健友堂クリニック、健康科学大学、山梨大学麻酔科

【はじめに】

偶然にもコロナウイルスが流行しそれに対する mRNA ワクチンの接種が普及したのと時期を同じくして「带状疱疹ウイルス感染」による感染症の劇症型を診る機会が増加している。带状疱疹の皮疹は劇症型では広範囲に及び、炎症は表皮や真皮に止まらずそれよりも深層に及ぶ。最も患者及び治療者を悩ませるのはその「痛み」が従来型の带状疱疹に比べて激しい事が特徴である。この带状疱疹は通常の抗ウイルス薬と NSAIDs などの鎮痛薬などの通常治療、さらにガバペンチンやトラマドールなどの抗てんかん薬やオピオイド受容体作動薬、MAO 取り込み阻害薬などを用いても患者の満足度は低く、しかも難治なためとても困るという声をよく耳にする。しかし、漢方治療を的切に行えば劇症難治の带状疱疹であっても対抗することが出来るはずである。今日は最近の一症例を例としてその带状疱疹治療方法について述べたいと思う。

【症例】五十五歳女性、带状疱疹を発症し近所の皮膚科内科クリニックを受診。皮疹の場所は右の大腿部から臀部にかけての広い面積である。抗ウイルス薬五日分投与し終わり、NSAIDs、トラマドール内服しているにも拘わらず眠る事が出来ないほどの痛みがずっと続いていて困るので、痛み軽減を希望して当院紹介受診となった。带状疱疹周囲の骨盤や大腿骨を圧迫すると激しい骨痛があるので、まずは骨蒸の治療が必用と判断された。また皮疹は膿を伴い深さは真皮以下に及んでいるので湿毒に対して敗毒治療も必要であると判断し、まずは治打撲一方合防風通聖散加鱉甲を処方し、他の内服薬は全て中止にした。患者も最初は本当に漢方で治るのかと半信半疑であったが、一週間後来院時に眠れるようになったと報告があり、二週間後来院時には長く歩くと股関節が痛いと言い普通に歩いて生活が出来るようになっていた(VAS7)。皮疹内部の熱感減少と骨痛はほとんど無くなっていたので処方を八味地黄丸に変更。その二日後から皮疹はぐんぐん治り始め(VAS3)、その二週間後には北海道旅行に行けたということであった。

【結語】带状疱疹の初期治療で大切なのは表皮の治癒を優先する事では無いという事である。特に最も深層の骨に熱がついて痛みを発する骨蒸があった場合は速やかに対処する必要がある。是を怠ると皮膚や筋肉が治った後でも湿毒がいつまでも深層に埋め込まれたままになるので後に带状疱疹後神経痛になるので注意が必要である。私はこの場合は大氏随症の処方に鱉甲を加味して対応することになっている。鱉甲が入る方剤であらかた湿毒による骨蒸を取り去ったあとでも骨痛が遷延する場合には八味丸などで補腎をしたほうがよいことが多い。また皮疹の治療であるが、私の皮疹の治療の原則は①敗毒②解毒の順で行うのを原則にしている。今回のように带状疱疹のような急性劇症型の皮疹の場合は敗毒作業のみで治癒してしまうことも多い。

演題.7 インフルエンザ罹患後の西洋薬に無反応な難治性咳嗽(昼多咳夜無)に対して肝気虚の漢方治療で著効した1症例

【演者】○渡邊 善一郎

福笑会 富士ニコニコクリニック

【はじめに】西洋薬に無反応な難治性咳嗽(昼多咳夜無)に肝気虚に用いる黄耆建中湯+桂枝加黄耆湯で著効した症例を経験したので報告する。

【症例】10歳男児《主訴》西洋薬に反応しない難治性咳嗽(昼多咳夜無)

現病歴:3ヶ月前にインフルエンザ罹患し、その後は難治性咳嗽の治療をしていた。

抗生物質1種、抗アレルギー剤3種、鎮咳去痰剤4種内メジコン 30mg3回(成人最大4回)、抗炎症剤2種内プレドニン5mg、吸入5種、神秘湯で反応なし。病院小児科で2回の検査は異常なし。演者の東部小児救急当番日に受診し、ゲホン・ゲホンと不止の咳を昼日に認め、夜間睡眠中は咳なし。肺聴で異常なし。脈やや弦、舌正、腹診で咳のための腹直筋緊張を認め、膈側面の支持で咳が軽減した。

診断:既に経験した病態である肝胆気虚の条達失調による昼多咳夜静。

治療:小児救急外来には処方がないので、翌日に当院を受診してもらい、黄耆建中湯+桂枝加黄耆湯各2包を処方。

経過:服用3日目の受診時には咳嗽5/10軽減し、受診中の咳嗽2回のみ。7日分追加で終了。

【考察】肝気虚による「昼多咳夜静」の特徴は、激しいケンケンした乾燥咳で、肺聴正(西洋医学的検査で異常なし)、通常の呼吸系薬は無効で、他臓腑の症状もあります。東洋医学の『素問・咳論篇』「五臓皆令人咳、非獨肺也」にも、肝気虚による記載はありません。『素問:蔵気法時論二十二』「肝病者、平旦慧、下晡甚、夜半静。肝欲散、急食辛以散之、用辛補之、酸瀉之。」を参考に、肝は体陰用陽(肝血⇄肝気)→胆気の関係より、『輔行訣』小補肝湯、『THE KAMPO』黄耆建中湯、「篠原明德」起肝湯などが肝気虚に用いられる方剤と考えた。

【結語】肝気虚の条達失調(伸びやか働けない様)による難治性咳嗽(昼多咳夜無)は黄耆を中心とした桂枝加黄耆湯・黄耆建中湯で短期に軽快させることができる。

演題.8 コロナ後遺症の倦怠感、ブレインフォグに黄耆建中湯が有効であった一症例

【演者】○原 典子¹⁾、賀村 仁美²⁾、中田薫³⁾

1)身延山病院、2)北杜市立辺見診療所、3)中田医院 中国医学研究所

【緒言】 コロナ感染症罹患後の後遺症に、全身倦怠感やブレインフォグなどがある。今回、コロナ感染症罹患後の全身倦怠感やブレインフォグに対して黄耆建中湯が有効であった症例を経験したので報告する。

【症例】 44歳 女性 [主訴] 倦怠感、集中できない

【現病歴・経過】 X年12月28日 37度台の発熱にてコロナ感染症に罹患。X+1年1月3日(6日目)倦怠感がつよく補中益気湯などを内服するものの倦怠感が続く。X+1年1月11日(14日目) 黄耆建中湯を内服。1月16日(19日目)には倦怠感も改善しほぼ通常通りになった。

【考察】 コロナ感染症罹患後の全身倦怠感、具体的には、なにかへん、集中できない。だるい。むずかしいことを考えたくない。やる気がでない、という状況に対して、補中益気湯よりも黄耆建中湯のほうに有効であった。補中益気湯は10味の生薬を含み、黄耆建中湯は6味の生薬を含む。黄耆建中湯は小建中湯に黄耆を加えた処方であり補う生薬が主体である。補中益気湯も補剤であるが、補う生薬のほかに升麻や柴胡を含む。升麻や柴胡は、陽気の昇挙発散の働きが強い。そのため、本症例に対しては黄耆建中湯が、症状改善によかったものと思われる。

地道薬材

東洋薬行

輸入漢方
エキス製剤



- 黄耆建中湯 エキス細粒
- 桂枝加黄耆湯 エキス細粒
- 桂枝加葛根湯 エキス細粒
- 桂枝加厚朴杏仁湯 エキス細粒
- 啓脾湯 エキス細粒
- 桂麻各半湯 エキス細粒

株式会社 東洋薬行 〒113-0033 TEL03 (3813) 2263
東京都文京区本郷 6-19-7 FAX03 (3813) 0202

勝昌製薬廠股份有限公司

明通化学製薬股份有限公司

漢方製剤 薬価基準収載 識別コード NC127

コタロ- 麻黄附子細辛湯

劇薬 エキスカプセル

麻黄附子細辛湯

感冒、気管支炎に
緩和、改善します。

- 微熱や悪寒がある。
- 全身倦怠感がある。

- 麻黄附子細辛湯で唯一のカプセル剤
- 眠気を誘発する成分は配合していません

4. 効能又は効果

全身倦怠感があつて、
無気力で、微熱、悪寒するもの。
感冒、気管支炎。

6. 用法及び用量

通常、成人 1日 6カプセル (1.68g) を 2~3回に分割し、食前又は食後に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

8. 重要な基本的注意

8.1 本剤の使用にあたっては、患者の証 (体質・症状) を考慮して投与すること。なお、経過を十分に観察し、症状・所見の改善が認められない場合には、継続投与を避けること。

8.2 他の漢方製剤等を併用する場合は、含有生薬の重複に注意すること。プシを含む製剤との併用には、特に注意すること。

9. 特定の背景を有する患者に関する注意 (一部抜粋)

9.1 合併症・既往歴等のある患者

9.1.1 体力の充実している患者 [副作用があらわれやすくなり、その症状が増強されるおそれがある。]

- 9.1.2 暑がりで、のぼせが強く、赤ら顔の患者 [心悸亢進、のぼせ、舌のしびれ、悪心等があらわれることがある。]
- 9.1.3 著しく胃腸の虚弱な患者 [口渇、食欲不振、胃部不快感、悪心、嘔吐等があらわれることがある。]
- 9.1.4 食欲不振、悪心、嘔吐のある患者 [これらの症状が悪化するおそれがある。]
- 9.1.5 発汗傾向の強い患者 [発汗過多、全身脱力感等があらわれることがある。]
- 9.1.6 狭心症、心筋梗塞等の循環器系の障害のある患者、又はその既往歴のある患者 [当該疾患及びその症状が悪化するおそれがある。]
- 9.1.7 重症高血圧症の患者 [当該疾患及びその症状が悪化するおそれがある。]
- 9.1.8 排尿障害のある患者 [当該疾患及びその症状が悪化するおそれがある。]
- 9.1.9 甲状腺機能亢進症の患者 [当該疾患及びその症状が悪化するおそれがある。]

10. 相互作用

10.2 併用注意 (併用に注意すること)

薬名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
マオウ含有製剤：葛根湯、小青竜湯、麻黄湯 等 エフェドリン含有製剤：エフェドリン塩酸塩、 dl-メチルエフェドリン塩酸塩、 フェキソフェナジン塩酸塩・塩酸ノイドエフェドリン 等 モノアミン酸化酵素 (MAO) 阻害剤：セレギリン塩酸塩、 ラサキリンメシル酸塩 等 甲状腺製剤：チロキシン、リオチロン 等 カテコールアミン製剤：アドレナリン、イソプレナリン 等 キサンチン系製剤：テオフィリン、ジプロピリン 等	不眠、発汗過多、 頻脈、動悸、全身 倦怠感、精神 興奮等があらわ れやすくなるの で、減量するな ど慎重に投与す ること。	交感神経刺 激作用が増 強されること が考えられ る。

11. 副作用

次の副作用があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止するなど適切な処置を行うこと。

11.1 重大な副作用

11.1.1 肝機能障害、黄疸 (いずれも頻度不明) : AST、ALT、ALP、γ-GTP 等の著しい上昇を伴う肝機能障害、黄疸があらわれることがある。

11.2 その他の副作用 (一部抜粋)

動悸、胃部不快感、排尿障害

22. 包装

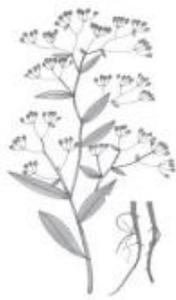
- 100カプセル (10カプセル×10) [PTP]
- 300カプセル (10カプセル×30) [PTP]
- 600カプセル (10カプセル×60) [PTP]

※その他の注意事項等情報等については電子添文をご参照ください。

小太郎漢方製薬株式会社

調剤調製先 小太郎漢方製薬株式会社 医薬事業部
〒531-0071 大阪市北区中津2丁目5番23号 TEL06(6371)9106 FAX06(6377)4140
(9:00~17:30、土・日、祝日、年末年始休業)

(2023年11月現在)



サイコ (柴胡)



シャクヤク (芍薬)



ハッカ (薄荷)



トウキ (当帰)



ビャクジュツ (白朮)



ブクリョウ (茯苓)



ショウキョウ (生姜)



カンソウ (甘草)



サンシ (山梔子)



ボタンビ (牡丹皮)

オースギ 医療用 漢方製剤

薬価基準収載

ジユンコウ
か み しょう よう さん
FC 24T 加味逍遙散
FCエキス錠 医療用

オースギ医療用漢方製剤

錠剤シリーズ

- FC24T 加味逍遙散
- FC39T 苓桂朮甘湯
- FC41T 補中益気湯
- SG-01T 葛根湯
- SG-05T 安中散料
- SG-07T 八味地黄丸料
- SG-08T 大柴胡湯
- SG-09T 小柴胡湯
- SG-15T 黄連解毒湯
- SG-16T 半夏厚朴湯
- SG-19T 小青竜湯
- SG-23T 当帰芍薬散料
- SG-75T 四君子湯
- SG-84T 大黄甘草湯
- SG-95T 五虎湯



効能又は効果、用法及び用量、使用上の注意等については最新の電子化された添付文書をご覧ください。



(01)04987032024784

漢方を現代医療に生かす
オースギ
大杉製薬株式会社

資料請求先

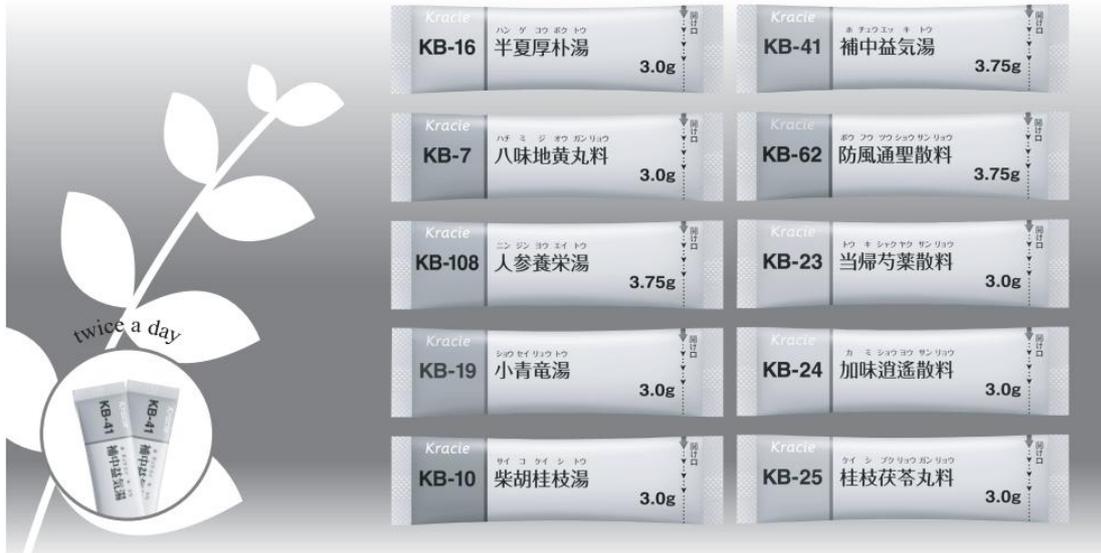
営業本部 〒546-0035 大阪市東住吉区山坂 1-8-6

TEL(06)6629-9055(代) <https://ohsugi-kanpo.co.jp>

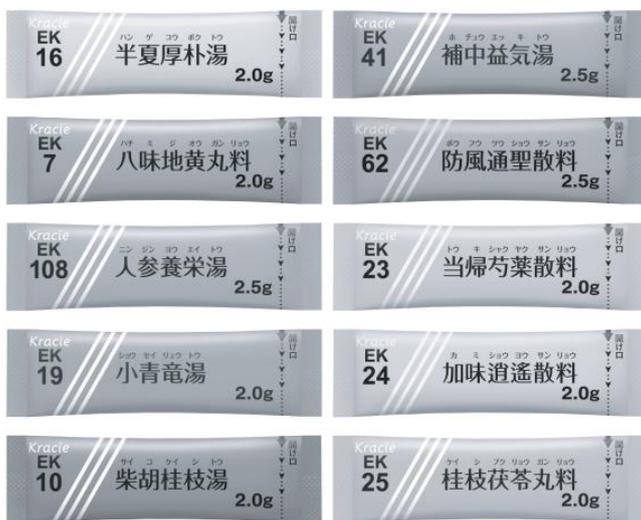


(2024年8月作成)

Kracie



twice or three times a day 選べるやさしさ



スティックで、健やかな暮らしへ

クラシエ 薬品株式会社

[資料請求先] 〒108-8080 東京都港区海岸3-20-20

医療用医薬品ウェブサイト「漢・方・優・美」 <http://www.kampoyubi.jp>

■各製品の「効能・効果」、「用法・用量」、「使用上の注意」等については製品添付文書をご参照ください。